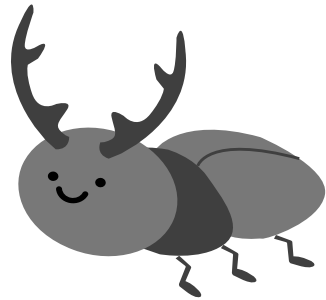


かぶとむし

むしのおうさま。ものをひっぱるちからがとてもつよい。

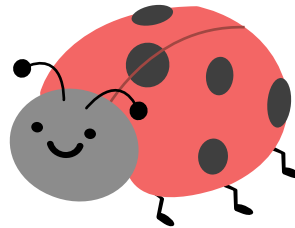
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



くわがたむし

からだをまっぴたつにするほどはさむちからがつよい。

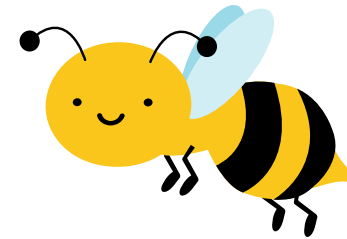
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



てんとうむし

せなかの「てん」が7つあるななほしてんとうがゆうめい。

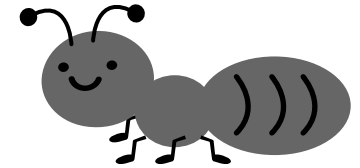
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



はち

おしりからはりがはえていてさされるととてもいたい。

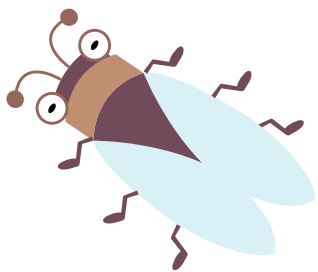
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



あり

あごをつかっておもいものもちあげることができる。

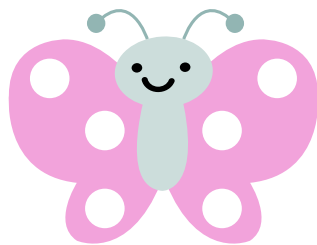
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



せみ

うちのなかでなんねんかんもすごしたあとちじょうにでてる。

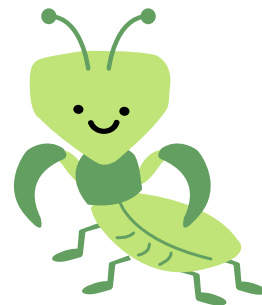
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



ちょう

はなのみつをすうのためにくちはすとりーのようになっている。

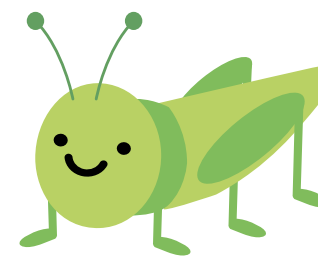
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



かまきり

まえあしがかまのようにみえることからかまきりとよばれる。

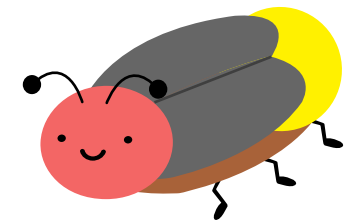
さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



ばった

うしろあしがはったつしていてとおくまでじゃんぷができる。

さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他



ほたる

おしりをひからせてほたるどうしでれんらくをとりあっている。

さかな ほにゅうるい はちゅうるい
りょうせいるい とり むし その他